

# 千葉大学大学院医学研究院和漢診療学活動報告

## 1. 組織構成

当教室は、千葉大学大学院 医学研究院の本講座として「和漢診療学」、寄付講座として「先端和漢診療学」、医学部附属病院の診療科として「和漢診療科」があり、当教室の構成員は、このいずれかに所属することになっている。年度末（3月）で大幅な異動があったため、3月までと4月以降に分けて記載する。

### <平成22年1月～3月>

「医学研究院 和漢診療学」

教授 寺澤捷年

「医学研究院 先端和漢診療学講座」

客員准教授 並木隆雄

客員准教授 関矢信康

客員准教授 笠原裕司

客員助教 地野充時

客員助教 岡本英輝

「附属病院 和漢診療科」

医員 小川恵子

医員 木俣有美子

医員 平崎能郎  
(=大学院生兼務)

医員 王子剛

後期研修医 植田圭吾

「医学研究院 和漢診療学」

研究生 来村昌紀

研究生 奥見裕邦

大学院生 平崎能郎

大学院生 山本智史

技術補佐員 大野賢二

事務補佐員 大野(竹田)慶子

事務補佐員 作本美和

### <平成22年4月～12月>

「医学研究院 和漢診療学」

准教授 並木隆雄(6月～)

「医学研究院 先端和漢診療学講座」

客員准教授 笠原裕司

客員助教 地野充時

客員助教 平崎能郎

客員助教 岡本英輝

事務補佐員 作本美和

「附属病院 和漢診療科」

医員 小川恵子

医員 木俣有美子

医員 植田圭吾

医員 王子剛(=大学院生兼務)

医員 島田博文(10月～)

医員 八木(佐藤)明男(4～9月)

後期研修医 高橋久美子

「医学研究院 和漢診療学」

大学院生 山本智史

大学院生 来村昌紀

大学院生 奥見裕邦

大学院生 王子剛

3月末をもって、寺澤捷年教授が定年退官された。後任には、寄付講座客員准教授の並木隆雄が平成22年6月本講座准教授に就任し、教室を主宰していくこととなった。なお、寺澤教授退官に合わせて、客員准教授関矢信康、技術補佐員大野賢二、事務補佐員大野慶子(旧姓竹田)が退職した。

また、大学院生であった平崎能郎は卒業して、客員助教に着任、研究生であった来村昌紀、奥見裕邦の両名と医員であった王子剛の計3名が大学院に入学した。

なお、八木(旧姓佐藤)明男医員は、平成22年9月末をもって内科研修目的で鹿島労災病院(茨城県神栖市)に転出し、代わって平成22年10月に島田博文が2年間の鹿島労災病院における内科研修を修了し帰院した。

## 2. 診療

### 1) 外来診療

附属病院における当科の漢方診療外来は、平成22年4月より王子剛が、平成22年10月より高橋久美子・永井千草(研修登録医)が、それぞれ開始した。

外来は原則午前とし、2-3ブースで診察を行い、今年は、新患患者30~40名/月、再来患者750~850名/月のペースであった。

附属病院緩和ケアチームは、小川恵子・木俣有美子に加え、関矢信康の退職に伴って4月より地野充時が新たに所属し活動を開始した。

附属病院褥瘡対策チームは、笠原裕司に加え、地野充時の緩和ケアチーム移籍に伴って4月より王子剛が新たに所属し活動を開始した。

附属病院感染対策チームには、並木隆雄に代わって4月より植田圭吾、高橋久美子が活動を開始した。

## 2) 入院診療

平成 22 年 4 月現在、和漢診療科の割当病床は、ひがし 8 階病棟に 2 床である。入院診療は平均 90% 前後の病床稼働率を示した。病棟は、主に岡本英輝、植田圭吾、八木（佐藤）明男（4～9 月）、王子剛・島田博文（10 月～）木俣有美子および小川恵子らが担当した。

## 3) 連携病院（当教室からの出向外来）

- 聖隷佐倉市民病院（千葉県佐倉市）：和漢診療科 外来（毎週火曜・金曜午後および土曜午前、各曜日 1 診体制）
- さんむ医療センター（千葉県さんむ市）：和漢診療科 外来（毎週火曜、1 診体制）
- 校正病院（東京都中野区）：漢方外来（毎週土曜、2 診体制）
- 辻中病院柏の葉（千葉県柏市）：漢方内科外来（毎週月曜・水曜、各曜日 1 診体制）

## 4) その他

平成 17 年 5 月から本教室では本学柏の葉診療所の診療補助に従事している。本年の補助は、月 1 回の寺澤捷年の外来（3 月で終了）および並木隆雄の更年期障害専門外来（通年）であった。

## 3. 教 育

漢方薬を漢方医学的な病態に基づいて適正に使用するためには、漢方医学的基礎概念の習得とともに漢方臨床に根ざした研修を必要とする。当科では、卒前の学生、卒後すぐの前期研修医、漢方専門家を目指す後期研修医、他の専門を持ちつつ漢方も身につけたい医師向けの生涯教育的な研修と幅広いニーズに答えることができるように多彩な研修コースを用意している。

### 1) 卒前教育

当大学内の講義として、医学科 1 年次の「現代医学の展開ユニット」において「東洋医学と西洋医学の和諧を考える」を 1 コマ、4 年次の「医学序説ユニット」において「東洋医学概論」を 4 コマ、6 年次の病態と診療において「代替医療」の 8 コマ、薬学部薬学科 4 年次の「漢方治療学」7 コマをそれぞれ担当。さらに今年から看護学部 2 年次の「病態学」1 コマを新たに担当し、千葉大学における漢方教育に積極的に取り組んでいる。

また、平成 18 年 4 月から当科では選択臨床教育（クリニカル・クラークシップ）に従事している。本年も本学 6 年次学生の希望者 9 名に対して 3 グループ×3 週間の計 9 週間、クリニカルクラークシップを、外来および入院診療見学、テュートリアル形式の症例検討を中心に行った。

また他大学の研修希望の医学生も積極的に受け入れ（今年は合計 6 名）、本学学生と同様のクリニ

カルクラークシップを行っている。

### 2) 卒後教育

当院は臨床研修病院であり、主に 2 年目の初期研修医が当科の研修を選択することができる。今年は、5 名の前期研修医が 1～2 カ月当科の研修を選択した。外来見学・病棟担当・ミニレクチャー等を行った。

### 3) 専門教育

木俣有美子、王子剛、岡本英輝の 3 名が既定の研修期間を終え、日本東洋医学会専門医を取得した。

### 4) 生涯教育

前年度に引き続き、市民公開講座などの漢方医学の啓蒙活動にも積極的に取り組んでおり、今後も継続していく方針である。

研修登録医も積極的に受け入れ、外来診療を中心とした開業医や勤務医への漢方医学教育を行い、漢方専門医を目指す医師の登録を行っている。（今年は 9 名）

## 4. 研 究

平成 18 年度からは、本学大学院医学研究院博士課程の大学院生を迎え、研究指導にあたっている。一方、漢方医学教育におけるグローバルスタンダードの構築を達成するには、証をより客観的なものとする必要がある。このため我々は漢方薬の薬理作用の研究および漢方診療における臨床エビデンスの集積について取り組み、公的な競争的研究費取得についても引き続き積極的に参加していく。

### ◇研究費取得状況

- 1) 厚生労働省科学研究費。(代表：並木隆雄)「根拠に基づく更年期障害治療推進のための洋漢統合医学的エビデンスの構築」。(2010年3月終了)
- 2) 2010年度厚生労働省科学研究費補助金(医療技術実用化総合研究事業)。(分担者：並木隆雄)「漢方薬によるワクチンアジュバント効果の検討と臨床応用」。
- 3) 2010年度厚生労働省科学研究費助金。(分担者：並木隆雄)「漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用」
- 4) 2010年度厚生労働省科学研究費補助金。(医療技術実用化総合研究事業)(研究協力者：並木隆雄)「統合医療を推進するための日本伝統医学の標準化」。

### ◇著 書

- 1) 並木隆雄：これだけは知っておきたい実践診療のコツ 循環器疾患漢方治療マニュアル。

現代プランニング, 東京, 2010

- 2) 平崎能郎, 中山俊憲: 食物アレルギー. 臨床粘免疫学, 400-411, シナジー, 東京, 2010

#### ◇総説

- 1) Yamaura K, Suzuki M, Namiki T, Ueno K: Expression of the histamine H4 receptor in human tissues and its clinical role. *Nippon Yakurigaku Zasshi*. 2010 Jun ; 135(6) : 235-9.
- 2) 並木隆雄, 喜多敏明: 東洋医学の広場. 急性疾患に対して漢方はどこまで対応できるか. *日本東洋医学雑誌*, 61, 1, 57, 2010
- 3) 奥見裕邦, 石川俊男, 並木隆雄: 心身医学の挑戦 心療内科からすべての診療科へ 心身医学的アプローチ 漢方治療, *総合臨床*, 59, 11, 2286-2293, 2010
- 4) 笠原裕司, 寺澤捷年: 漢方医学と西洋医学の接点. *JOHNS*, 26, 4, 543-545, 東洋医学社, 東京, 2010
- 5) 小川恵子, 寺澤捷年: 特集女性にやさしい漢方療法 これからの女性医療と漢方. *婦人科治療*, 100, 987-991, 永井書店, 東京, 2010
- 6) 菅井波名, 鶴飼加奈子, 竹尾愛理, 平井愛山, 天野恵子, 並木隆雄, 佐藤洋美, 山浦克典, 村松正明, 上野光一: 更年期障害におけるERβ 遺伝子多解析と臨床応用. 漢方と最新治療, 19, 4, 341-348, 世論時報社, 東京, 2010
- 7) 並木隆雄, 平崎能郎: 太腸病における寒熱「表寒・表熱」を考える, *漢方の臨床*, 57, 5, 795-801, 2010
- 8) 来村昌紀: 地域医療のヒント. 漢方の臨床, 57, 6, 1000-1006, 東京, 2010

#### ◇原著

- 1) Okamoto H, Voleti B, Banasr M, Sarhan M, Duric V, Girgenti MJ, Dileone RJ, Newton SS, Duman RS. Wnt2 Expression and Signaling Is Increased by Different Classes of Antidepressant Treatments. *Biological Psychiatry*. 68(6) : 521-527, 2010
- 2) Yamamoto S, Tsumura N, Ogawa-Ochiai K, Nakaguchi T, Kasahara Y, Namiki T, Miyake Y: Early detection of disease-oriented state from hyperspectral tongue images with principal component analysis and vector rotation. *Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc*. 1: 3025-8, 2010
- 3) 田嶋公人, 来村昌紀, 松本健次郎, 並木隆雄, 堀江俊治: Transient receptor potential

vanilloid subtypel(TRPV1)チャネル刺激によるラット胃粘膜血流の増大反応における内因性一酸化窒素(NO)／神経型NO合成酵素の関与, *潰瘍*, 37, 2, 140-143, 2010

#### ◇症例報告

- 1) Chino A, Okamoto H, Hirasaki Y, Terasawa K: A Case of Atopic dermatitis successfully treated with jumentaihoto (KAMPO). *Alternative therapies. A peer-reviewed journal*, 16(1) : 62-64, 2010
- 2) 地野充時, 石田 厚, 関矢信康, 大野賢二, 平崎能郎, 笠原裕司, 並木隆雄, 宮崎 勝, 寺澤捷年: 動静脈瘤による多発性難治性両側下腿皮膚潰瘍に対し和漢薬治療が奏効した一例. *日本東洋医学会雑誌*, 61, 3, 325-330, 2010
- 3) 地野充時, 関矢信康, 大野賢二, 平崎能郎, 笠原裕司, 並木隆雄, 寺澤捷年: 和漢薬治療が奏効したWells'症候群の一症例. *日本東洋医学雑誌*, 61, 1, 45-50, 2010
- 4) 小川恵子, 地野充時, 尾本暁子, 小泉仁嗣, 関矢信康, 笠原裕司, 来村昌紀, 橋本すみれ, 並木隆雄, 寺澤捷年: 切迫流早産に補中益気湯が有効であった1例. *日本東洋医学雑誌*, 61, 1, 32-35, 2010
- 5) 関矢信康, 岡本英輝, 平崎能郎, 植田圭吾, 柴原直利, 寺澤捷年: 甘連石膏湯が奏効した体感異常の一例. *漢方の臨床*, 57, 1, 111-114, 2010
- 6) 地野充時, 石田厚, 関矢信康, 大野賢二, 平崎能郎, 笠原裕司, 並木隆雄, 宮崎勝, 寺澤捷年: 動静脈瘤による多発性難治性両側下腿皮膚潰瘍に対し和漢薬治療が奏効した一例. *日本東洋医学雑誌*, 61, 3, 325-330, 2010
- 7) 小川恵子, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 来村昌紀, 木俣有美子, 奥見裕邦, 大野賢二, 並木隆雄, 秋葉哲生, 寺澤捷年: 慢性咳嗽に防己黄耆湯加麻黄が有効であった4例. *日本東洋医学雑誌*, 61, 3, 337-344, 2010
- 8) 佐藤明男, 植田圭吾, 小川恵子, 笠原裕司, 地野充時, 岡本英輝, 平崎能郎, 木俣有美子, 王子剛, 高橋久美子. 並木隆雄: 疎経活血湯が奏効した視床痛の一例. *千葉県医師会雑誌*, 62, 9, 480, 2010

#### ◇学会報告

- 1) Hirasaki Y: Repressor of GATA negatively regulates the induction of contact hypersensitivity via Th2-induced mast cell



- degranulation. 14th International Congress of Immunology, August 22-27, Kobe, Japan, 2010
- 2) Kasahara Y, Sekiya N, Chino A, Namiki T, Hirasaki Y, Kita T, Kogure T, Terasawa K : Disappearance of Various Abdominal Symptoms with Kampo Treatment in a Postoperative Patient with Renal Cell Carcinoma. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 3) Hirasaki Y, Sekiya N, Chino A, Ueda K, Okamoto H, Ohno K, Kasahara Y, Raimura M, Okumi H, Namiki T, Terasawa K : Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy Successfully Treated with Therapy Based on Kampo Diagnosis. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 4) Okumi H, Kasahara Y, Raimura M, Ueda K, Kimata Y, Ohono K, Chino A, Namiki T, Akiba T, Terasawa K : A Clinical Trial on Chronic Fatigue Syndrome: Integration of Kampo Medicine,s and Psychosomatic Approach. The Effectiveness of Kampo Medicine, in Psychiatry Field: 3 Case Reports. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 5) Okamoto H, Sekiya N, Kimata Y , Chino A,Keiko O, Kasahara Y, Hirasaki Y, Ohno K, Namiki T, Terasawa K : The Effectiveness of Kampo Medicine, in Psychiatry Field: 3 Case Reports. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 6) Ogawa K, Sekiya N, Namiki T, Kasahara Y, Chino A, Okumi H, Raimura M, Ohno K, Higashimoto H, Okimoto Y, Terasawa K : A Case of Mediastinal Lymphangioma Successfully Treated with Kampo Medicine. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 7) Namiki T, Kasahara Y, Okamoto H, Hirasaki Y, Ohno K, Raimura M, Sekiya N, Sato H, Yamaura K, Ueno K, Terasawa K : Results of Treatments in Our Hospital for Patients with Ulcerative Colitis Resistant to Standard Western Medicine,. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 8) Kakikura H, Matsumoto Y, Sugai H, Ueno K, Kaneko A, Hisanaga A, Kita T, Chino A, Namiki T, Terasawa K: Association of Serum Anti-müllerian Hormone (AMH) Level for Climacteric Symptoms. February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 9) Sugai H, Ugai K, Kaneko A, Namiki T, Sato H, Yamaura K, Muramatsu M, Ueno K: Association of ERβ Gene Polymorphisms with Climacteric Symptoms Pharmacogenetics of Keishibukuryogan Therapy for Climacteric Symptoms. The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 10) Kakikura H, Ito A, Matsumoto Y, Ueno K, Kaneko A, Hisanaga A, Kita T, Chino A: Namiki T, Terasawa K: Pharmacogenetics of Keishibukuryogan Therapy for Climacteric Symptoms The 15th International Congress of Oriental Medicine, February 26-28, Chiba, Japan, 2010
  - 11) 来村昌紀, 秋葉哲生, 福田和正, 荷堂謙, 佐藤幹, 山上岩男, 中村孝雄, 並木隆雄, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 岡本英輝, 小川恵子, 奥見裕邦, 木俣有美子, 植田圭吾, 王子剛, 平崎能郎, 大野賢二, 山本智史, 寺澤捷年 : 漢方渾身の一例,小児片頭痛に対する漢方治療の有用性. 第61回日本東洋医学会学術総会,愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 106, 東京, 2010〕
  - 12) 小川恵子, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 平崎能郎, 岡本英輝, 木俣有美子, 植田圭吾, 大野賢二, 並木隆雄, 寺澤捷年 : 肺炎後の遷延性咳嗽に漢方治療が有効であった1例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 206, 東京, 2010〕
  - 13) 大野賢二, 関矢信康, 三上正利, 橋場則昭, 岡崎仁子, 角野めぐみ, 岡本英輝, 植田圭吾, 小川恵子, 木俣有美子, 平崎能郎, 笠原裕司, 地野充時,並木隆雄, 寺澤捷年 : 煎じ薬応需薬局へのアンケート調査に関する検討(第2報). 第61回日本東洋医学会学術総会,愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 214, 東京, 2010〕
  - 14) 植田圭吾, 並木隆雄, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 平崎能郎, 小川恵子, 木俣有美子, 岡本英輝, 王子剛, 大野賢二, 寺澤捷年 : 原因不明の難治性腹痛に白虎加桂枝湯が奏効した一例. 第61回日本東洋医学会学術総会,

- 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 217, 東京, 2010〕
- 15) 平崎能郎, 関矢信康, 地野充時, 大野賢二, 岡本英輝, 植田圭吾, 笠原裕司, 来村昌紀, 奥見裕邦, 並木隆雄, 寺澤捷年: 続発性無月経に和漢治療が奏効した3例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 238, 東京, 2010〕
  - 16) 奥見裕邦, 関矢信康, 来村昌紀, 平崎能郎, 地野充時, 笠原裕司, 並木隆雄, 秋葉哲生, 寺澤捷年: 反復性の扁桃腺炎に対し柴胡桂枝乾姜湯加減が奏効した一症例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 264, 東京, 2010〕
  - 17) 地野充時, 大野賢二, 木俣有美子, 植田圭吾, 小川恵子, 岡本英輝, 平崎能郎, 笠原裕司, 関矢信康, 並木隆雄, 寺澤捷年: アナストロゾール(アロマターゼ阻害薬)の副作用に対し十全大補湯加附子が奏効した一例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 307, 東京, 2010〕
  - 18) 喜多敏明, 金子明代, 角野めぐみ, 松本毅, 川嶋裕子, 永嶺宏一, 大野賢二, 並木隆雄, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 寺澤捷年: 機能性身体症候群における日常役割機能の障害に及ぼす気血水病態の影響. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔東洋医学雑誌, 61, 別冊, 319, 2010〕
  - 19) 笠原裕司, 並木隆雄, 関矢信康, 地野充時, 岡本英輝, 大野賢二, 木俣有美子, 植田圭吾, 小川恵子, 平崎能郎, 来村昌紀, 奥見裕邦, 寺澤捷年, 喜多敏明: 千葉大学薬学部学生の漢方教育に対する認識, 講義後のアンケート調査から. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 332, 2010〕
  - 20) 小川真生, 笠原裕司, 関矢信康, 地野充時, 並木隆雄, 寺澤捷年: 苓桂朮甘湯エキス剤が著効した下痢型過敏性腸症候群の1例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 346, 2010〕
  - 21) 岡本英輝, 関矢信康, 木俣有美子, 地野充時, 植田圭吾, 小川恵子, 笠原裕司, 平崎能郎, 王子剛, 並木隆雄, 寺澤捷年: 難治性の嘔気小建中湯が奏効した一例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 347, 2010〕
  - 22) 並木隆雄, 赤瀬朋秀: 漢方薬併用による薬剤費の軽減効果潰瘍性大腸炎患者における検討. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 349, 2010〕
  - 23) 木俣有美子, 関矢信康, 笠原裕司, 地野充時, 平崎能郎, 小川恵子, 岡本英輝, 植田圭吾, 王子剛, 大野賢二, 並木隆雄, 寺澤捷年: 肝腎症候群に対し, 温脾湯が奏功した一例. 第61回日本東洋医学会学術総会, 愛知, 2010〔日本東洋医学雑誌, 61, 別冊, 353, 2010〕
  - 24) 小川恵子: 小児リンパ管腫に漢方治療が奏効した1例. 第47回日本小児外科学会学術集会, 愛知, 2010
  - 25) 王子剛, 笠原裕司, 地野充時, 岡本英輝, 平崎能郎, 小川恵子, 木俣有美子, 植田圭吾, 高橋由美子, 並木隆雄: 体格と服力の関係について一腹力中等度の患者での検討一. 第27回和漢医薬学会学術大会, 京都, 2010
  - 26) 平崎能郎: 吃逆に大承気湯加減が奏効した2症例. 第20回漢方治療研究会, 2010, 東京.
  - 27) 佐藤明男: リハビリテーション領域における牛車腎気丸の有用性が示唆された2症例. 第20回漢方治療研究会, 東京, 2010
  - 28) 岡本英輝, 地野充時, 平崎能郎, 木俣有美子, 植田圭吾, 小川恵子, 王子剛, 高橋久美子, 佐藤明男, 佐藤友里恵, 笠原裕司, 並木隆雄: アナストロゾール(アロマターゼ阻害薬)の副作用に対し抑肝散が有効であった一例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
  - 29) 王子剛, 伊藤隆, 深谷良, 佐藤明男, 高橋久美子, 植田圭吾, 木俣有美子, 小川恵子, 岡本英輝, 平崎能郎, 地野充時, 笠原裕司, 並木隆雄: 芎帰膠艾湯が重篤な慢性出欠貧血に奏功し延命に寄与したと考えられた2症例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
  - 30) 木俣有美子, 笠原裕司, 地野充時, 平崎能郎, 岡本英輝, 小川恵子, 植田圭吾, 王子剛, 高橋久美子, 佐藤明男, 並木隆雄: 苓甘姜味辛夏仁湯が有効であった2症例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
  - 31) 高橋久美子, 平崎能郎, 齊藤武, 佐藤明男, 王子剛, 木俣有美子, 植田圭吾, 小川恵子, 岡本英輝, 地野充時, 笠原裕司, 吉田英生, 並木隆雄: 附子粳米湯が有効であった潰瘍性大腸炎の一例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
  - 32) 植田圭吾, 佐藤明男, 王子剛, 高橋久美子, 木俣有美子, 小川恵子, 岡本英輝, 平崎能郎, 地野充時, 笠原裕司, 並木隆雄: 尋常性乾癬に麻杏薏甘湯と桂枝茯苓丸との併用が奏功し

- た一例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
- 33) 笠原裕司, 平崎能郎, 岡本英輝, 小川恵子, 木俣有美子, 植田圭吾, 王子剛, 高橋久美子, 喜多敏明, 小暮敏明, 並木隆雄: 実脾飲が奏功した下肢浮腫の1例. 日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会, 埼玉, 2010
- 34) 島田博文: 転移性骨腫瘍による骨折を契機に発見された剖検により左下野原発の肺癌と確定診断しえた一例. 第14回和漢診療学シンポジウム, 富山, 2010
- 35) 小川恵子: 慢性咳嗽に防已黄耆湯加麻黄が有効であった3例. 第14回和漢診療学シンポジウム, 富山, 2010
- 36) 小川恵子, 木俣有美子, 植田圭吾, 並木隆雄: 抗アロマターゼ剤に伴う副作用に対する漢方治療の経験. 第48回日本癌治療学会学術集会, 京都, 2010
- 37) 奥見裕邦, 石川俊男, 並木隆雄: 診断、治療に苦慮する症例について 心身医療における漢方治療の試み 難治症例における漢方方剤の役割. 第15回日本心療内科学会学術大会, 岡山, 2010〔日本心療内科学会誌, 14, 抄録号, 68, 2010〕
- ◇その他
- 1) 並木隆雄: 舌の色・質感解析と診断の応用. 文部科学省補助事業イノベーションシステム整備事業 地域イノベーションクラスタープログラム都市エリア型(発展)〈千葉・東葛エリア〉「先進的地域基盤技術を活用した次世代型抗体創薬システム及び診断用デバイスの開発事業化」平成21年度研究成果報告会, 千葉, 2010. 3
- 2) 鍋谷欣市, 並木隆雄: インタビュー 漢方への模索. 漢方の臨床, 57, 2, 227, 2010
- 3) 笠原裕司: 和漢診療学的視点からのセルフケア. 千葉大学病院看護部院内教育講座, 千葉, 2010. 1
- 4) 小川恵子: 小児科領域の漢方. ちば和漢連続ナビゲーション2009. 第5回特別講演会, 千葉, 2010. 1
- 5) 笠原裕司: 漢方概論. 風邪処方を使い分け. ちば和漢連続ナビゲーション2010. 第1回 千葉北総漢方カンファレンス, 千葉, 2010. 2
- 6) 寺澤捷年: 東西医学の融和. 第36回千葉東洋医学シンポジウム, 千葉, 2010. 3
- 7) 地野充時: 抗癌剤の副作用に対して和漢薬治療が有効であった3症例. 第36回千葉東洋医学シンポジウム, 千葉, 2010. 3
- 8) 小川恵子, 木俣有美子: 漢方について. 第35回県職女性につどい, 千葉, 2010. 3
- 9) 笠原裕司: 消化器領域の漢方治療. ちば和漢連続ナビゲーション2009. 第6回特別講演会, 千葉, 2010. 3
- 10) 笠原裕司: 入門講義 六病位「陰病」. 第64回千葉大学東洋医学自由講座, 千葉, 2010. 6
- 11) 地野充時: 入門講義 四診. 第64回千葉大学東洋医学自由講座, 千葉, 2010. 7
- 12) 並木隆雄: 傷寒論282～290条. 第64回千葉大学東洋医学自由講座, 千葉, 2010. 10
- 13) 笠原裕司, 地野充時, 並木隆雄: 漢方について. 漢方スキルアップ研修会, 千葉, 2010. 5
- 14) 地野充時: 漢方医学について. 基礎から学ぶ漢方医学入門, 和歌山, 2010. 7
- 15) 並木隆雄: 傷寒論282～290条. 第64回千葉大学東洋医学自由講座, 千葉, 2010. 10
- 16) 笠原裕司: 夏場の消化器系のトラブル. 千葉北総漢方カンファレンス, 千葉, 2010. 8
- 17) 並木隆雄: 傷寒論282～290条. 第64回千葉大学東洋医学自由講座, 千葉, 2010. 10
- 18) 笠原裕司: 和漢診療の『物差し』とその使い方. 日本東洋医学会北海道支部函館地区学術講演会, 北海道, 2010. 11
- 19) 笠原裕司: 漢方を使ってみようと思立った先生方に—3処方の漢方—. 函館漢方講演会, 北海道, 2010. 11
- 20) 笠原裕司: 冬場の不定愁訴(冷え・痛みを中心に). 千葉北総漢方カンファレンス, 千葉, 2010. 12
- ◇新聞報道
- 1) あすを拓く「舌診」. 日本経済新聞, 2010. 10. 6
- ◇特許
- 1) 出願番号: 特願2010-029562号 2010. 2. 12